

「一」～「五」から二問を選択して解答しなさい。解答は、解答用紙に選択した問題番号を明記して解答しなさい。漢字は常用漢字で表記してよい。

「一」 次の『漢書』卷四十九爰盎伝を読み、全文を現代日本語訳にし、設問に答えなさい。

問一：この史料の撰者とされる人物は誰であり、彼はどのような生涯を送ったのかを説明しなさい。

問二：この史料に登場する「爰盎」について、知りうることを述べなさい。

盎告歸，道逢丞相申屠嘉，下車拜謁，丞相從車上謝。盎還，媿其吏，^(一)乃之丞相舍上謁，^(二)求見丞相。丞相良久乃見。因跪曰：「願請問。」^(三)丞相曰：「使君所言公事，之曹與長史掾議之，吾且奏之；則私，吾不受私語。」盎即起說曰：「君爲相，自度孰與陳平、絳侯？」^(四)丞相曰：「不如。」盎曰：「善，君自謂弗如。夫陳平、絳侯輔翼高帝，定天下，爲將相，而誅諸呂，存劉氏；君乃爲材官蹶張，遷爲隊帥，^(五)積功至淮陽守，非有奇計攻城野戰之功。且陛下從代來，每朝，郎官者上書疏，未嘗不止輦受。其言不可用，置之；言可采，未嘗不稱善。何也？欲以致天下賢英士大夫，日聞所不聞，以益聖。」^(六)而君自閉箝天下之口，^(七)而日益愚。夫以聖主責愚相，君受禍不久矣。」丞相乃再拜曰：「嘉鄙人，乃不知將軍幸教。」引與入坐，爲上客。

【二】次の文章について下記の設問に答えなさい。

一、この文章は、何れの国から何れの国へ宛てられた上表文であるのか答えなさい。

二、この上表文の主体である当該国をとりまく具体的な国際情勢や国内状況の説明を加えながら、傍線部を現代語に訳しなさい。

臣某言、臣聞欲而不貪、駕説於孔門弟子、德莫若讓、騰規於晉國行人、苟竊位自安、則妨賢是責、臣假威天睢、承之海隅、雖非法令滋彰、未免寇盜充斥、遑恤于後、勇退爲先、敢言善自爲謀、實慮刑茲無赦、臣以當國、雖鬱壘之、蟠桃接境、不尚威臨、且夷裔之、孤竹連疆、本資廉退、矧仮九疇之、餘範早襲八條之教、源言必畏天行、皆讓路、蓋稟仁賢之化、得符君子之名、故邊豆饁田鉞矛寄戶、俗雖崇於帶劍、武誠責於止戈、爰從建國而來、罕致反城之讐、嚮化則南閭、是絶安仁、則東戸何慙。是以直至臣兄贈大傳臣最、遠沐皇澤、虔宣詔條、供職一終、安邊萬里。而及愚臣繼守、諸患併臻、始則黑水侵疆、曾噴毒液、次乃綠林成當、競競狂氣、所管九州、仍標百郡、皆遭寇火、若見劫灰。加復殺人如麻、曝骨如莽、滄海之橫流日甚、昆岡之猛焰風顛、致使仁鄉、變爲疵國。此皆由臣守中迷道、馭下乖方。鴟梟沸響於鳩林、魚鱉勞形於鰈水、況乃西歸瑞節、則鷁艦平沈、東降冊書則鳳輶中輟、阻霑膏雨、虛費薰風、是乖誠動於天、實懼罪深於海。群寇既至今爲梗、微臣固無所取材、日邊居義仲之官、非臣素分、海畔守延陵之節、是臣良圖、久苦兵戎、仍多疾瘵、深思自適其適、難避各親其親、竊以臣姪男嶠、是臣亡兄最息、年將志學、器可興宗。山下出泉、蒙能養正、丘中有李、衆亦思賢、不假外求、爰從內舉。近已俾權藩寄、用靖國災。然屬蟻至壞堤、蝗猶隱境、熟無以濯、溺未能援帑、廩一空、津途四塞、槎不來於八月、路猶於復於九天、不獲早託梯航、上聞施展。雖唐虞光被、無憂後至之誅、奈蚩夷寇多、久阻過征之使、禮實乖闕情莫違寧。臣每思量力而行、輒遂奉身而退。自開自落、竊媿狂花、匪斷匪離、聊全朽木。所願恩無虛受、位得實歸。既睽分東顧之憂、空切詠西歸之什。謹原因當國賀正使某官入朝、付表陳讓以聞。

「三」次の文章は、『大金国志』卷十七 世宗聖明皇帝中的一部分である。これを読んで、設問(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 全文を日本語訳しなさい。
(2) ここで記される金・宋間の交渉とその前後の経緯について、説明しなさい。

宋遣使

五月、宋遣使趙雄來賀國主生辰^{〔一〕}、復附國書曰：「比致祈懇，旋勤誨緘^{〔二〕}，欲重遣于輅車，恐復煩于館舍。惟列聖久安^{〔三〕}之^{〔四〕}陵寢^{〔五〕}，既難一旦而驟遷，則靖康未返之衣冠，豈敢先期而獨請。再披諒諭之旨^{〔六〕}，詳及受書之儀，蓋今叔姪之情親，與昔尊卑之體異，敢因慶禮，薦布忱誠，尚冀允從，式符企望。」蓋去年范成大所得本國報書，以欽宗梓宮爲詞也。至是雄入辭，國主使臣宣諭云，跪聽旨，歸日傳語宋皇帝：「向來初講和日，宋朝來祈請徽宗靈柩，已送還了。」^{〔七〕}今再講和^{〔八〕}，宋國自當來祈請欽宗靈柩，父子同葬，以時奉祀。去年使來，却妄請鞏維山陵。上國止許奉遷，并許一就發還欽宗靈柩。上國已令搬取在此，俟^{〔九〕}來^{〔一〇〕}報聞^{〔一一〕}。^{〔一二〕}今因聘使來^{〔一三〕}，輒附書稱「久安陵寢，難以輒遷，及靖康靈柩亦難獨請」。向來已許遷送，今返辭以爲難，于義安在？朕念欽宗嘗在宋國作帝，尚爾權葬，深可矜憫。今宋國既不欲請，上國却當就鞏維山陵奉葬。」無一語及受書事。

〔四〕次の史料は、道光二十八年の理藩院の上奏文の一部である。これを読んで、設問(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 全文を現代日本語に訳しなさい。適宜注釈を施してもよい。
- (2) この史料で取り上げられている問題について、その後どのような展開があったか、説明しなさい。

査内地與外夷交涉事件

本有舊章自宜永遠恪守得輕議更改上年該達喇嘛曾以前事呈請業經本院飭駁在案茲復據文呈請查該國向於恰克圖一處交易百餘年來獲利甚豐於該國大有裨益茲復請於伊犁等三處通商不惟與成例不符且恐於恰克圖一處貿易生理反形減少况民夷交涉易啓爭端儻有口舌爭執及鬪毆等事均須照例懲辦嫌隙一生轉失百餘年來和好之意自以仍於恰克圖一處照舊通商庶為有利無弊所有該俄羅斯達喇嘛據文呈請之處應仍毋庸議此事業已奏明

※Web掲載に際し、左のとおり出典を追記しております。

札行俄羅斯館監督如該國呈請在伊犁等處設立貿易事

The National Palace Museum, Taipei, CC- BY-NC 4.0 @ www.npm.gov.tw

- 〔五〕次の文章を読んで、設問(1)、(2)に答えなさい。
- (1) 全文を日本語訳しなさい。
- (2) 下線部に示されている著者の見解に対して、「新満洲」(ice manju) という言葉を用いて論評を加えなさい。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

———ここから記入すること———

東洋史学

総 点

--

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(裏へ続く)

[illegible]

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(裏へ続く)

———ここから記入すること———

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——